

SPR News 93

June 2021



ソーシャルディスタンスを保って
開催された第32期定期総会

第32期定期総会を開催
お知らせ 下水道展'21大阪に出展

第32期定期総会を開催

4月27日（火）に京王プラザホテル（東京都新宿区）にて日本SPR工法協会「第32期定期総会」を開催し、役員の選任を含む5議案が議決、承認されました。今回は新型コロナウイルス感染防止のため、出席者を東京近郊在勤者に限定するとともに、初めてインターネット配信を実施しました。

途中開催した理事会において、渡辺会長、原副会長、今川副会長、棚橋副会長等役員が選任され、さらなる協会の発展に向けて尽力していくことを報告しました。



渡辺 志津男 会長

会長挨拶（要旨）

昨年は新型コロナウイルス一色の年であり、コロナとの戦いは今も続いています。そのような状況でも、遅らせることのできない施工現場では緊張した対応が求められ、会員の皆様も苦慮されていると存じますが、皆様のご尽力により令和2年度の施工実績は前年度に比べ大幅減とはなっておらず、大変感謝しております。

令和2年12月に「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」が閣議決定され、より一層老朽化対策が推進されていくことと思います。管路更生を取り巻く課題は様々ありますが、会員の皆様と強固に連携し、前進して参ります。

事業報告・事業計画

令和2年度 事業報告

● 施工実績

- SPR工法 (SPR-NX工法含む) : 65,522m [193.5億円]
- オメガライナー工法 : 44,398m [24.4億円]
- SPR-SE工法 : 4,862m [19.8億円]

● 主な特筆すべき受注・施工実績

【北海道支部】

オメガライナー工法：旭川市の下水道管更新及び浸水対策（施工延長前年度比180%）

【東北支部】

SPR-SE工法：秋田市の下水道管きよ改良工事（県内初受注、2連施工受発注）

【東京支部】

SPR工法：東京都での幹線再構築工事（大口径）

【北関東支部】

SPR工法：山梨県流域下水道事務所の管路施設改築更新・耐震補強工事（2年連続受注、SPR-NX初施工）

【南関東支部】

オメガライナー工法：下水道管再整備工事（受注延長が前年比154%増）

【北陸支部】

SPR-SE工法：氷見市の幹線管きよ更生工事（市内初受注）

【東海支部】

オメガライナー工法：各務原市の管きよ布設および更生工事（連続受注）

【関西支部】

SPR-SE工法：兵庫県の幹線管きよ改築工事（4年連続受注、2本）

【中・四国支部】

SPR工法：NEXCO西日本のIC建設工事（SPR-NX鞘管工法切替採用）

【九州支部】

オメガライナー工法：上天草市の管きよ更生工事（最大口径400m、最長64m施工）

【沖縄支部】

SPR工法：那覇空港港湾整備事務所の那覇空港滑走路改良工事（既設管重量増分）

● 事業報告

- 令和2年度総会を書面総会にしたのを皮切りに、理事会、運営委員会、技術委員会、事務局長会、施工者会議など、あらゆる会議をWebに変更して実施した。
- 説明会については一部ウェビナー形式で実施した。
- 講習・研修活動は、下水道管路更生管理技士資格の更新講習を令和2年10月からオンライン研修（eラーニング）に変更し、支障なく対応できた。認定技術研修（二次試験）は、早期に資格取得が必要な会員に対して、充分な感染対策を講じた上で従来通り対面にて実施した。

令和3年度 事業計画

● 事業目標

- SPR工法（円形管）（SPR-NX工法含む）：72,000m [130億円]
- 自由断面SPR工法：8,000m [80億円]
- オメガライナー工法：60,000m [35億円]
- SPR-SE工法：5,000m [23億円]
- RPC工法：200m [2億円]

● 事業計画予定

- 会員サービスの向上のため、昨年の下水道管路更生管理技士資格更新のオンライン化に続き、Webを活用した講習・研修や、リモート形式によるデモ施工などの普及宣伝活動も検討する。
- 新しい生活様式の中で感染予防を徹底し、普及宣伝活動を継続的に展開するとともに、下水道管路更生管理技士の資格者の維持拡大に注力し、地方公共団体の様々な管路更生需要に対応する。
- 会員への情報提供や普及宣伝ならびに研修活動をスムーズに行うため、ホームページを全面的にリニューアルする。会員専用ページを設けて、管路更生管理技士一次対策講習の動画を配信するほか、SPR工法をはじめとする各工法のPR動画も刷新し、ホームページ、YouTube等で公開する。
- 地域の多様化するニーズに細かく対応していくため、支部活動の一層の活性化を目指し、今年度も支部活性化助成金制度を継続する。

功労者顕彰・支部表彰

足立勇氏（前足立建設工業株相談役、日本SPR工法協会設立発起人）に功労者顕彰を授与しました。また、支部表彰は令和2年度に成果を上げた6支部を表彰しました。

功 労 者 顕 彰

足立勇氏は、SPR工法の開発者にして、SPR工法協会の設立発起人でもあります。設立以来22年間にわたり当協会の副会長、東京支部長を務められ、当協会の発展に尽力されました。現在のSPR工法と当協会の礎を築いた足立勇様の功績を称え、「顕彰の盾」と小冊子「追想 足立勇さん」を贈呈致しました。



故 足立勇氏



渡辺会長から顕彰の盾などを足立邦夫氏に授与



顕彰の盾



小冊子「追想 足立勇さん」

支 部 表 彰

- SPR工法年間施工延長大幅拡大、SPR工法（農業用水部門）年間施工延長最高実績【東北支部】
- SPR-SE工法年間施工延長最高実績【北関東支部】
- オメガライナー工法年間施工延長最高実績、オメガライナー工法（支部別）年間施工延長過去最高実績【南関東支部】
- SPR-SE工法年間施工延長最高実績、下水道管路更生管理技士新規登録者数最高実績【関西支部】
- オメガライナー工法年間施工延長大幅拡大【中・四国支部】
- 新規会員の大幅加入【九州支部】



支部表彰は代表で南関東支部の成田支部長に授与

新 役 員

役員の改選により、原 英雄副会長が新たに選任されました。



原 英雄 新副会長
東京都下水道サービス(株)
専務取締役

第31期定期総会以降に新規会員になられた28社(五十音順)

アークジョイン(株)／(有)アースウイング／旭建設(株)／(株)網本工業／(株)共立／(株)K・サトウ／興亞建設工業(株)／(有)山河／(株)ダイイチコンストラクション／(株)谷黒組／DK工業(株)／(株)東亜興業／戸田道路(株)／(有)ニシマキ産業／西港建設工業(株)／日英建設(株)／(株)ニック／野田建設(株)／肥後木村組(株)／(株)兵建／(株)ホープ／北信土建(株)／松尾建設(株)／松下建設(株)／(株)松永建設／(株)米本重建／リアル建設(株)【賛助会員】(株)和建

News Report



- 管路メンテ年報で点検率が初の20%超え
- 経費率「下水道(4)工事」の新設

◎ 管路メンテ年報で点検率が初の20%超え

国土交通省は、改正下水道法で5年に1回以上の頻度で点検が義務付けられているマンホールと管きょについて、地方公共団体での令和元年度末時点の点検実施状況や今後の対策予定を取りまとめた下水道管路メンテナンス年報を公表しました。

令和元年度におけるマンホールの点検実施箇所数は、対象箇所数の約26%にあたる29,695カ所、管きょの点検実施延長は対象延長の約25%にあたる988.9km。令和元年度までの4年間の累計で点検実施率はマンホール、管きょともに約73%となりました。点検実施率は両施設ともに年報の公表から初めて20%を超えるました(表1参照)。

表1 点検実施数

集計区分	対象数	点検実施数	点検実施率	点検実施数 (累計)	点検実施率 (累計)
マンホール(箇所)	113,579	29,695	26.1%	82,891	73.0%
管きょ(km)	3,915.0	988.9	25.3%	2,858.1	73.0%

また、点検を実施したマンホール29,695カ所のうち、約12%にあたる3,478カ所で異状が確認され、管きょは988.9kmのうち約14%にあたる136.8kmで異状が確認されました(図1、2参照)。

詳細は下水道全国データベースHP内下水道管路管理メンテナンス年報ページ(<http://portal.g-ndb.jp/portal/pipeline/>)をご覧ください。

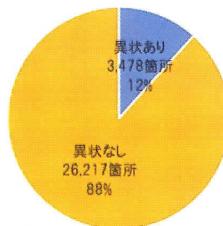


図1 マンホールの点検結果

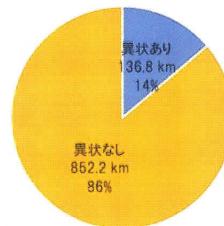


図2 管きょの点検結果

◎ 経費率「下水道(4)工事」の新設

国土交通省は2月5日に令和3年度の土木工事の積算資料を公表しました。近年、老朽化した下水道管の改築需要が増加していることを受け、下水道の更生工法工事に用いる「下水道(4)工事」が間接工事費の工種区分に新設されました。

また、新たな積算基準において「下水道(4)工事」について共通仮設費、現場管理費の算出式が示されました。詳細につきましては、国土交通省HP、土木工事積算基準関係ページ(<https://www.mlit.go.jp/tec/koujisekisan.html>)をご確認ください。

お知らせ

下水道展'21大阪に出展

当協会は8月17日(火)～20日(金)に大阪市・インテックス大阪で開催される下水道展'21大阪(主催者:(公社)日本下水道協会)に新型コロナウイルス対策を徹底した上で出展いたします。小間番号は2070です。

皆様のご来場をお待ちしております。